



『月の沢龍神街道スノーアートフェスティバル』が今年から『月の沢龍神冬まつり』と名前を変え、2月21日(土)～22日(日)に、庄内町北月山荘周辺で開催されました。

このイベントは、立谷沢地区の豪雪を利用し、地域の「賑わい」や地域住民の「喜び」と「感動」を創出し、都市部住民と地域住民の交流拡大や地域活性化等を目的とした、地域住民の手作りのイベントです。

雪像や巨大かまくら作成、今話題のプロジェクションマッピングの他、今年初めて雪上打ち上げ花火等を行いました。

当出張所では、北月山荘内に広報コーナーを設けて、土砂災害や雪崩の危険性、立谷沢川流域で行っている砂防事業等を紹介するパネル展示を行いました。



龍神の雪像 作成中！

# 大規模土砂災害に備えた危機管理演習 - 庄内町 -

平成27年1月30日(金)「庄内町 狩川公民館」において、7機関約60名が参加して、庄内町立谷沢川流域において①深層崩壊による河道閉鎖(天然ダム)およびその決壊②大雨により土石流危険渓流で土石流が発生したとの想定に基づき緊急時の連絡体制や対応を確認する危機管理演習を実施しました。

演習は「学習型防災訓練」を言われる形式で行い、参加者には事前にシナリオを知らせず、「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、災害発生状況等の情報を訓練参加者に与えた上で進行者が対応について質問し、これに訓練参加者が回答する形で進められました。

本訓練を行ったことで、実際に災害が発生した場合の各機関の動きや、情報の伝達先が確認でき有意義な訓練となりました。



# 現場技術者による「安全施工技術」研究発表会

新庄河川事務所では、平成27年2月25日(水)新庄市民プラザにおいて『第19回 現場技術者による「安全施工技術」研究発表会』を開催しました。この発表会は、当事務所が今年度に発注した工事及び業務委託に携わった技術者がそれぞれの業務に際し、安全対策の向上における創意工夫等を発表し、施工技術の向上・技術者の研鑽を図るものです。

当日は、山形県立新庄神室産業高校2年生及び3年生20名を含む181名が参加し、活発な質疑応答が行われました。

49題の応募の中から、特に優れていると認められた11題について発表が行われ、当出張所からは、(株)柿崎工務所 今田 康志 現場代理人が「**崩落斜面直下での作業に関する安全対策について**」と題し発表し、みごと優秀賞を受賞されました。



立谷沢川流域濁沢川ほか整備工事 現場代理人 今田 康志 さん



この度、優秀賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。今回の工事は昨年度から引き続き崩落地直下での「除石」、「堰堤補修」、「工事用道路工事」だったので、土砂崩落及び土石流への安全対策が重要でした。土石流により孤立した場合を想定して、避難経路に従い月山林道まで到達できるか実際に訓練を行いました。避難経路に従った訓練を行ったことにより、作業員の安全意識が向上し、無事故・無災害で工事を完成することが出来ました。また、立谷沢地区の皆様には、工事へのご理解ご協力をいただき、この場を借りてお礼を申し上げます。

## 「さきちゃんだより」

砂防の「さ」の由来

希望の「き」をとり、親しみが持てるよう「さきちゃんだより」とネーミングしました!



## 《立谷沢川砂防出張所/砂防資料館》

〒999-6601  
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23  
TEL 0234-56-2050  
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>  
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

～砂防資料館～  
開館日：※土日・祝日は閉館しております。  
※ご利用の際は事前にご予約ください。

